令和4年度 志教育全体計画

宮城県気仙沼高等学校定時制課程

訓 校 究理創造 和親協同 至誠励業

本校の教育目標

I 新しい時代に対応できる学力の形成を図り、創造的能力の啓発に努

め、国家及び社会の形成者としての資質を養う。 Ⅱ心身を鍛え、豊かな情操と協同の精神を培い、個性の伸長を図る。 Ⅲ地域の自然や文化を尊び、国際的視野に立ち、志の実現を自ら目指し 活躍する人材を育成する。

保護者や地域の願い

- ・就職を主としながらも多様な進路希望が ある中で「進路希望が達成できる学校」と しての期待が大きい.
- 地域住民からは地域に貢献できる人材の 育成を望まれている。

生徒の実態, 教師の願い

勉強と仕事の両立が図れる地域で唯一の高 校として,経済的・精神的に困難を抱えな がらも努力する生徒が多く見られる。

「志教育」の目標

- ・地域の特色や地元の産業・企業を理解し、地域社会に貢献する態度を
- 急速に変化する現代社会をたくましく生き抜くための基本的な知識や 人間関係の構築の方法を身につける。 ・社会性と規範意識の醸成に努め、周囲への思いやりと心遣いのできる
- 人間性を養う。

重点指導事項

人と「かかわる」 よりよい生き方を「もとめる」

• 進路講話や総合的な探究の時間における活動を 通して自己実現に向けた意識を高めさせ、将来の 職業とその実現を目指す進路について考えさせ

• 世の中の変化に対応するために必要な、基本的 な知識や技術を学び行動につなげられるようにす

社会における自分の役割を自覚し、震災からの復 興に向けて自身が果たすべき役割を考えさせることを通して、安全な社会への意識を高め、またそ のために必要な知識や技術を身につけ、校内外の 行事の際に実際に行動することができるようにす

社会での役割を「はたす」

自分の適性や能力を知り、自己と集団の望ましい 人間関係の育成や改善を図ることができるように する。また地域社会を理解し、地域の安心安全の ために自分が何をできるか考え、他者とコミュニ ケーションをとり協力しながら物事に取り組む姿 . 勢を養う。

各教育活動における取組の観点

- 基礎・基本を重視し、知識の定着を図るとともに、学 び方やものの考え方を身に付け、問題解決や探究活動 教 科 に主体的・創造的に取り組む姿勢を育成する。
- 思いやりの心と豊かな感受性を持って節度を重んじな がら粘り強く努力する個性豊かな生徒の育成, 潤い豊 道 徳 かな社会の実現と発展のために積極的に取り組む態度 の育成を目指す。
- 自己理解を深め、将来の人生を切り拓くための進路学 合的 σ 習(キャリア学習)に取り組む。探究活動を通じて、 n な探究 社会に存在する課題を発見し解決していくための資 質・能力を育成する。
- 特 LHRにおける学級活動,各種学校行事(体育大会・文 밂 化祭・修学旅行等)を通じて,集団生活における規 活 律, 友情や協力の重要性を学ぶ。
- 安全教育に関する行事を通し、生徒自らが安全な環境 の について考え、守ろうとする姿勢を育成する。 他

家庭との連携

・ホームページや「勤労以進学」等の学校だよりや学校評 価を通して情報の発信を進めるとともに、PTA活動や学校 公開等で家庭との相互理解と連携を図る。

各学年の取組内容

- ①インターンシップの実施
- ②地域ボランティアの実施
- ③ハローワーク講話
- ④進路ガイダンス 年
 - ⑤職場見学(1・2年合同)
 - ⑥探究活動
 - ①インターンシップの実施
 - ②地域ボランティアの実施
- ③オープンキャンパス・職場訪問 ④ビジネスマナー講座 年
 - ⑤職場見学(1・2年合同)
 - 6探究活動
 - ①インターンシップの実施
 - ②地域ボランティアの実施
- ③オープンキャンパス・職場訪問 ④ビジネスマナー講座 3
- 狂
 - ⑤人生設計
 - 6探究活動
 - ①自己分析
 - ②企業・大学研究
- ③面接•書類指導 ④ビジネスマナー講座 年
 - ⑤人生設計
 - 6探究活動

地域・企業との協働

• 正社員やアルバイトでの就労、インターンシップ、ボラ ンティア等によって,仕事や地域への奉仕活動等を通して 地域貢献を行うことで、地域から信頼される学校作りを進 める。